



生き物ぎょうさん里村で 作られたお米を食べてみませんか？

購入することで、誰でもできる自然再生

このパンフレットでは「生き物ぎょうさん里村」に認定された
地域・団体の取り組みを紹介しています



自然がいっぱいの田んぼにはカエルや昆虫などがたくさんいます！



福井県

「生き物ぎょうさん里村」認定制度ってなに?!

水田は、私たちの食を支えるお米の生産活動の場であり、カエルやトンボ、ドジョウ、水草などたくさんの生き物が育まれる大切な場所です。福井県では、里地・里山の豊かな自然を守り育てるため、水田環境で生き物や生態系を守る活動をしている団体を「生き物ぎょうさん里村」として認定し応援しています。



水田で生き物や生態系を守る活動(例)

1 農薬50%以上削減

農薬を減らすことによって水田に生息するホタルやトンボなど多様な生き物が増え、生態系を守ります。



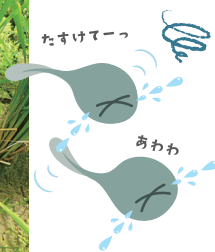
2 冬に水田に水を張る「冬水田んぼ」

秋から冬にかけて、水田に水を張ったり一部水を残したりして、水生生物や水鳥の飛来を増やします。



3 中干し延期

イネの生育中に水田から水を落とす水管理(中干し)を少し延期して、オタマジャクシがカエルになるのを助けます。



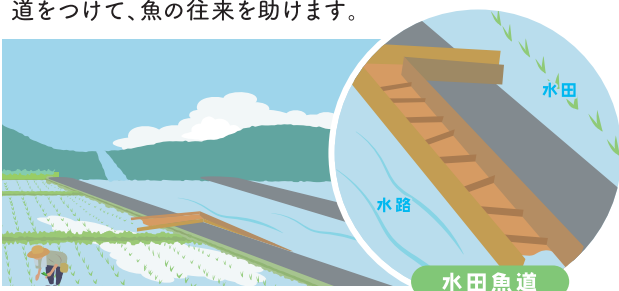
4 水田に生き物の棲み場所をつくる

水田に水が無くなる時期でも、水田の一部を少し掘り下げて、水を溜めるなど、水生生物の棲み場所を作って守ります。



5 水路と水田を往来できる道をつくる

コンクリート水路にスロープを設けて、水路に落ちたカエルやカメなどが這い上がったり、水田と水路をつなぐ魚道をつけて、魚の往来を助けます。



6 生き物調査の実施

観察会などで、水田に棲む生き物を調べて、成果を確認します。





01 なばたけ農場 (坂井市坂井町若宮)



代表者 稲澤 宗一郎

活動のアピールポイント

湛水期間を長く取り、米糠など未利用資源を使い水田の生物多様性を育み、農薬や化学肥料に頼らないお米作りを実践しています。今後はヘアリーベッチなどの緑肥作物を栽培し、地力回復や、生物多様性をさらに進めていきたいと考えています。

取り組んだ自然再生、育んだ生き物

生き物がぎょうさんいる田んぼではイトミミズの活動のおかげで雑草が少なくなったり、カエルなどの天敵のおかげでカメムシの被害もほとんど見られなくなりました。

営農方法 県特別栽培認証①



TEL:0776-68-1951

E-mail:kome@nabatake-farm.jp

02 福井稲穂の会 (福井市中荒井町)



代表者 中川 英男

活動のアピールポイント

米ぬか、くず米、籾殻などを主材料とした循環農業を進めています。農業が環境に負荷を与えないよう農薬を使わず、無化学肥料による、消費者に信頼される米づくりを目標としています。

取り組んだ自然再生、育んだ生き物

冬期たん水や中干しを遅らせ、カエルなどの水生動物の生息場所を確保しています。ホタルやドジョウの再生のほか、アマサギ、チュウサギ、カルガモなどのほか、秋にはコハクチョウが圃場に訪れることもあります。

営農方法 有機JAS、県特別栽培認証①



ファームサルート

TEL・FAX:0776-25-7711

03 ホタル田んぼの会 (福井市中手町)



代表者 北田 富美恵

活動のアピールポイント

“目指せ自給自足・脱農薬等”の考えを同じくする仲間が集まり、田んぼ作りをしています。農薬散布によって激減しているホタルをはじめとする、生き物の生息環境づくりに取り組んでいます。

取り組んだ自然再生、育んだ生き物

不耕起田んぼでは、埋め尽くされるほどヤマアカガエルが産卵します。ピオトープにはイモリやオタマジャクシ、ゲンゴロウがいます。ヘイケボタルやトンボ、ドジョウやタイコウチ、野鳥なども増えてきました。

営農方法 特別栽培(無農薬・無化学肥料)



要予約「カフェ手の花」にて予約受付

TEL:0776-93-2421



04 ひじりまる 聖丸宮農組合(勝山市野向町)



代表者 石橋 政光

活動のアピールポイント

人にやさしく生き物と共生出来る米づくり、減化学肥料・減農薬での米作り、有機肥料・農薬不使用での「そば・エゴマ」づくりを行い、生物多様性環境に配慮しながら安定した経営と持続可能な農業を目指します。

取り組んだ自然再生、育んだ生き物

冬期湛水・中干し延期、有機肥料・農薬不使用「そば・エゴマ」等で、冬鳥(カモ)の飛来、カエル、トンボ、蝶、てんとう虫等たくさんの生物が生息しています。

営農方法 県特別栽培認証④、冬水田んぼ



お米の
購入方法

TEL:0779-87-0158/090-2126-6759
E-mail:ishibasi@palette.plala.or.jp

05 ようろ ほたるの里丁有機農法研究会(大野市上丁区)



代表者 松田 元栄

活動のアピールポイント

室町時代には醍醐寺円光院の荘園として栄えた地で、飯降山からミネラル豊富な豊かな湧き水があり、生物多様性の自然豊かなところでお米づくりをしています。安全安心な食を通して私達と生きものそしてお客様との信頼関係を大切にしています。

取り組んだ自然再生、育んだ生き物

あぜぎわに溝を掘り、草刈りに配慮し、メダカ、タニシ、ドジョウ、ゲンジボタル、ヘイケボタル、ゲンゴロウ類、トンボ類、クモ類、カエル類、タイコウチ、ミミズ、鳥類(サギ・カモ・オンドリなど)が生息できる環境を守っています。

営農方法 県特別栽培認証①、③



お米の
購入方法

道の駅「越前おおの荒島の郷」・平成大野屋・ハピリン
TEL・FAX:0779-65-2909/
携帯:090-2379-3280

06 もうえもん 茂右衛門農場(鯖江市大野町)



代表者 上坂 季美好

活動のアピールポイント

稲刈り田植え以外は水を水田にはるなど、「メダカ」などが一年中元気に生息できる環境づくりに取り組んでいます。沢山の生き物が棲む田んぼから、美味しい安全なお米の収穫に取り組んでいます。

取り組んだ自然再生、育んだ生き物

地元、片上地区の在来種メダカが、田んぼの中で産卵をして元気に育ち、6.5mある退避溝には、探さなくてもすぐ発見できるほど、沢山の「メダカ」がいるようになりました。

営農方法 県特別栽培認証③、ピロール農法



お米の
購入方法

茂右衛門農場直営カフェ・蔵カフェMON
TEL:0778-29-0030



07 いりたに 入谷町みどりを守る会 (越前市入谷町)



代表者 坂井 俊也

活動のアピールポイント

農家だけでなく、町内全体の老若男女で活動を継続しています。今年からピオープの整備も始めます。今後とも人にも生きものにも優しい農村づくりを目指します。

取り組んだ自然再生、育んだ生き物

ヤゴやイモリ、タニシなどが豊富で、カエルの鳴き声で、夜が一番賑やかです。梅雨の終わりから蛍の乱舞が見られます。

営農方法 中干し延期、冬期湛水



**お米の
購入方法**

販売していません



08 越前市大塩町 (越前市大塩町)



代表者 大塩町区長

活動のアピールポイント

化学物質、農薬等は、環境破壊や人体への影響も懸念されます。昔ながらの栽培方法を取り入れ、冬に田んぼに水を張り、生き物を育む無農薬米の栽培の普及を目指しています。

取り組んだ自然再生、育んだ生き物

水を張る前に発酵資材を散布し、冬水田んぼにする事でイトミミズ等のほか微生物が大量に発生し、小動物の餌となり、抑草効果も発揮されます。夜、田んぼに行くと、数十羽のカモが羽根を休めています。

営農方法 有機JAS、県特別栽培認証①、③、④



**お米の
購入方法**

TEL:090-3296-2622
HP他、Amazon店で販売



(農)高山農園HP

09 越前市小杉町 (越前市小杉町)



代表者 夏梅 敏明

活動のアピールポイント

無農薬の田んぼにコウノトリが降りてくるとうれしくなります。生き物のために減農薬の田んぼを作ったり、休耕している田んぼに水張りをし、希少な生物を増やしています。

取り組んだ自然再生、育んだ生き物

無農薬の田んぼで気がついたことは、慣行田と比べてアオガエルが畦にたくさん卵を産んでくれます。そういう場所を生き物はわかるのだろうと感じています。

営農方法 県特別栽培認証①(コウノトリ呼び戻す農法)、③



**お米の
購入方法**

JAに全て出荷





10 越前市^{そはら}曾原町(越前市曾原町)



代表者 堀江 照夫

活動のアピールポイント

有機農法の過程ではビオトープづくり等生き物との共生に取り組んでいます。これらの取り組みに加えて里山の取り組みも行っています。森林での巣箱や餌箱設置及び遊歩道づくり等、地域団体と共同で実施しております。

取り組んだ自然再生、育んだ生き物

有機農法田では米ぬか散布や中干し延期などにより多くの生き物を増やす取り組みを行っています。更に、休耕田ではドジョウの生息池づくりに取り組んでいます。

営農方法 県特別栽培認証①、③、④



お米の
購入方法

JAに全て出荷



11 坂口地区^{うららの}町づくり振興会(越前市坂口地区)



代表者 山岡 登志男

活動のアピールポイント

2001年に開所した越前市エコビレッジ交流センターを拠点に、豊かな自然環境を教材にして、良好な環境の保全に資する担手の育成と、環境にやさしい地域づくりを進めてきました。2021年、この地区において野外コウノトリの繁殖が実現しています。

取り組んだ自然再生、育んだ生き物

地元子どもたちと農業・化学肥料不使用の「コウノトリが舞い降りる田んぼづくり」でもち米を栽培しています。田んぼには、カエルの種類が多く、畔ではたくさん飛び跳ねます。ビオトープでは、ミズカマキリやガムシが大量に見つかり、保全の成果を確認できます。

営農方法 県特別栽培認証①(コウノトリ呼び戻す農法、うるち米、もち米)、③、④



お米の
購入方法

【うるち米】JAみどり館 / 【もち米】エコビレッジ交流センター
TEL:0778-28-1123(要予約)



12 千合谷集落^{せんごうだに}営農組合・白山舎^{はくさんしゃ}(越前市白山地区)



代表者 堂下 正道

活動のアピールポイント

自然再生を目指し慣行栽培から脱却し、無化学肥料、無農薬栽培を中心に水田魚道の設置を行っています。美味しい米・野菜を提供し、集落の活性化と農地を守る運動を展開中です。環境のよい住みたく地域づくりに取り組んでいます。

取り組んだ自然再生、育んだ生き物

魚道や、ビオトープの設置、ドジョウ生息場所の整備等を行っています。昔いた水辺の小動物などの生き物を保全・再生させています。

営農方法 県特別栽培認証①(コウノトリ呼び戻す農法)



お米の
購入方法

TEL:090-2122-0194(坂井 諭一)



13 農事組合法人 ファームコウトリの里(越前市坂口地区)



代表者 藤木 保男

活動のアピールポイント

山間地で農地が狭く傾斜が大きいことから、耕作放棄地の増加が課題です。農業施設を守り、自然環境の保全再生を図るため2016年に農事組合を設立し、子供たちから若者、地区外の人からも協力を得て環境にやさしい農業と自然環境を持続しています。

取り組んだ自然再生、育んだ生き物

吉野瀬川の最上流に位置し、水と空気がきれいで、サンショウウオやハッチョウトンボ等の希少動植物が多く、外来種が少ないなど自然環境が豊かな地域です。カエルや昆虫の種類、数も多く、コウトリが飛来し、農地の中にある巣塔からは2021年は3羽、2022年は4羽が巣立っています。

営農方法 県特別栽培認証①(コウトリ呼び戻す農法)、③、④、冬期湛水



お米の
購入方法

TEL:0778-28-1904(藤木 保男)
※8月20日頃までに要予約

14 ファームさぎ草王国(越前市安養寺町)



代表者 上野 博

活動のアピールポイント

農業の担い手不足や農地の荒廃が心配される中、先人たちが守ってきた農地を子孫に残すため「ファームさぎ草王国」を立ち上げました。子供たちの故郷愛を育み、生き物と共生する、安全・安心・美味しい米作りに取り組んでいます。

取り組んだ自然再生、育んだ生き物

集落は水が少なく、山際の水路の管理をしながら同時にサンショウウオの生態調査を行っています。また水稲では「コウトリ呼び戻す農法米」を作付けし、今ではコウトリが舞う中で農業に取り組んでいます。

営農方法 県特別栽培認証①(コウトリ呼び戻す農法)、③、④



お米の
購入方法

さぎ草米 代表 上野 博
TEL:0778-28-1744/越前市安養寺町113-8

15 農事組合法人 ファーム庄境(越前市東庄境町)

しょうざかい



代表者 佐々木 哲夫

活動のアピールポイント

“人と自然に優しい農業”をモットーに取り組んでいます!岡本小学校や南中山小学校の児童と、無農薬・無化学肥料栽培により、コシヒカリや大豆の栽培体験なども行っています。美しい自然を未来の子供達に残したいという思いで活動を続けています。

取り組んだ自然再生、育んだ生き物

ネオニコチネイド系の農薬、除草剤もできるだけかまわずに、草刈り機や除草機で草を除去しています。また魚道も設置しています。

営農方法 県特別栽培認証①、③、④



お米の
購入方法

TEL:090-2838-8036(佐々木 哲夫)



16 農事組合法人 ファーム広瀬 (越前市神山地区)



代表者 庭本 久則

活動のアピールポイント

RICE IS GOOD.いいお米は =LIFE IS GOOD.いい人生を送ることができます! 未来を担う子どもたちのために、安心・安全な環境を作り、護っていくことが私達の努めだと考えております。だからこそ農薬不使用・有機肥料使用にこだわっています。

取り組んだ自然再生、育んだ生き物

化学肥料、農薬は不使用(有機肥料使用)で、カエル、トンボ、ドジョウなどが多く生息しています。一年を通じて、コウノトリが飛来してきます。

営農方法 有機JAS、県特別栽培認証①



お米の
購入方法

ファーム広瀬のHPで販売



ファーム広瀬HP

17 まっきーの杜^{もり} (越前市牧町)



代表者 橋本 弥登志

活動のアピールポイント

コウノトリがお腹いっぱい餌を食べられるよう、生物多様性の保全のために環境に配慮しながら、安定した経営を目指し、地域農業を守っています。

取り組んだ自然再生、育んだ生き物

冬水田んぼ、中干しの延期、水田魚道の設置によって、ドジョウ、カエルが増え、メダカが水田、用水路内で泳いでいます。

営農方法 県特別栽培認証①(コウノトリ呼び戻す農法)、③、④



お米の
購入方法

TEL:090-3297-2182(森 和恵)
FAX:0778-67-7487

18 矢船集落営農組合 (越前市矢船町)



代表者 川崎 善雄

活動のアピールポイント

特別天然記念物に指定されているコウノトリが1957年に飛来し、営業しました。隣接する日野川や近隣圃場に8年間も生息しました。以来コウノトリの町として活動しています。2014年に人工巣塔を建てコウノトリの住める環境作りに取り組んでいます。

取り組んだ自然再生、育んだ生き物

2010年から特別栽培米の米作り圃場を固定化し、化学肥料を使用しない農法を継続しています。冬水田んぼにはたくさんのドジョウが生息し、コハクチョウ、サギ、カモなどが飛来しています。

営農方法 県特別栽培認証③、冬水田んぼ



お米の
購入方法

TEL:090-3767-5079(川崎 悟司)



19 (株)田んぼの天使(越前町宮崎地区)



代表者 井上 高宏

活動のアピールポイント

1992年より自然生態系の保全と安全安心のお米を、未来を担う子供たちに届けるため、有機米を作っています。また、毎年、「生き物・虫観察会」を実施しています。今後も、有機田を更に拡大し、たくさんの生き物の命響き合う里山を作りたいと思っています。

取り組んだ自然再生、育んだ生き物

長年の有機農業の取り組みにより、田んぼには絶滅危惧種をはじめとした多様な水棲生物や植物が生息・生育するようになり、コウノトリが餌場として頻りに訪れてくれるようになりました。

営農方法 有機JAS、県特別栽培認証①、③



お米の
購入方法

膳野菜・道の駅えちぜん・おもいでな・生協ハーツ各店舗・百姓の館
田んぼの天使のHPで販売
TEL:0778-32-3807
E-mail:tanbonotensi@palette.plala.or.jp



田んぼの天使HP

20 (株)いーの越前(南越前町金柏地区・越前市上四目地区)



代表者 山本 恵一

活動のアピールポイント

弊社のモットーとして、魅力ある夢農業を目指し「食の安全・安心」を柱に地域環境保全を地域一体で考え実行しています。『きれいな谷川の水と、生き物がたくさん住んでいる生き生きとした田んぼで採れたお米』を消費者の皆様にお届けしたいと考えています。

取り組んだ自然再生、育んだ生き物

近隣の子供達と一緒に、田んぼや谷川で生き物の観察会を実施しています。カエルは勿論のこと、ミミズ、トンボ、サギが多くなりました。

営農方法 県特別栽培認証③、冬水田んぼ



お米の
購入方法

(株)いーの越前のHPで販売
TEL:0778-22-2720



いーの越前HP

21 美しい鳥浜を創る会(若狭町鳥浜)



代表者 松村 光洋

活動のアピールポイント

かつて鳥浜地区では、コイやフナが田んぼに上がって産卵していました。魚の往来が分断された湖と田んぼのつながりを取り戻す活動を通して、各家庭で日常的に食されるコイやフナ、テナガエビなど、自慢の湖の幸を守ることにも貢献します。

取り組んだ自然再生、育んだ生き物

三方湖と田んぼを行き来できる「水田魚道」の設置や、水路で産卵されたコイやフナの卵を休耕田でふ化させ育てる活動で、田んぼで育った魚がたくさん湖に帰っています。「冬水田んぼ」には、毎年コハクチョウが飛来します。

営農方法 特別栽培(減農薬・減化学肥料)



お米の
購入方法

販売していません



22 のうがくしゃ かみなか農楽舎(若狭町末野地区)



代表者 八代 恵里

活動のアピールポイント

人や環境に優しい農法でお米や野菜を栽培しています。農薬や化学肥料を一切使わないお米作りや、生き物たくさんの田んぼで農業体験の受け入れ、就農支援を行い、農業を通じて地域が元気に、未来につながる持続可能な活動を行っています。

取り組んだ自然再生、育んだ生き物

初夏はホタル、冬はコウノトリや水鳥が来るようになりました。農産物は有機JASの認証も受け、継続可能な農業と環境を守り、継承していくことを目指し日々活動を行っています。

営農方法 有機JAS、県特別栽培認証①、③



お米の
購入方法

かみなか農楽舎のHPで販売
TEL:0770-62-2125/FAX:0770-62-2124
E-mail:wakasa@nouson-kaminaka.com



かみなか農楽舎HP

23 田からmono田んぼ(若狭町海士坂)



代表者 保志 公平

活動のアピールポイント

“いのち育むお米はいのちあふれる田んぼから”眺めていても触れてみても人ともとけ込み豊かな郷となるように入水期間を出来るかぎり多くし、有機農法を取り入れています。

今後も、よりカラダにもココロにも環境にもやさしい郷を目指しています。

取り組んだ自然再生、育んだ生き物

冬にも入水するなど、湛水期間を多くし無除草を実施することで生きものたちの活動を活発にしています。その結果たくさんの生きものたちが暮らす環境となりコウノトリも毎年飛来するようになっています。

営農方法 有機JAS、特別栽培(減農薬)



お米の
購入方法

田からmono田んぼのHPで販売
TEL:090-6203-8636



田からmono
田んぼHP

24 みさと 美里会(若狭町相田)



代表者 吉村 義彦

活動のアピールポイント

水田営農の生産振興と生産技術改善を進めると共に、水田環境に生きる生物の生産環境を保全し、経営でも持続可能な農業を目指しています。

取り組んだ自然再生、育んだ生き物

冬水田んぼ、退避水路、退避溝、中干し延期に取り組み、カヤネズミ、ダルマガエル、ツチガエル、アキアカネ、ナガコガネグモ、クロゲンゴロウ、コシマゲンゴロウ、ヒメゲンゴロウ、シオカラトンボ等多数生息しています。

営農方法 有機JAS、県特別栽培認証①



お米の
購入方法

よしむら農園のHPで販売
TEL・FAX:0770-45-1070(吉村 義彦)
携帯:090-2032-0879(中村 誉央)
E-mail:info@hiko3.com



よしむら農園HP



25 (農)若狭下吉田営農組合(若狭町下吉田)

しもよしだ



代表者 岡本 登

活動のアピールポイント

田んぼは、米づくりの場であると同時に生き物の生息の場でもあります。自然と共生することが大切です。米づくりの大半は太陽・水・土の自然の力です。無農薬栽培、冬水田んぼ農法を増やし深めていきます。

取り組んだ自然再生、育んだ生き物

冬水田んぼでは、イトミミズが増え、アカガエルの産卵、カモやコハクチョウ、コウノトリの飛来、無農薬栽培によって稲にクモの巣が増えています。「水路の魚類調査」「田んぼの虫調査」「ホタル観察」を行っています。

営農方法 有機JAS、県特別栽培認証③、④、冬水田んぼ、稲木干し



お米の
購入方法

(農)若狭下吉田営農組合のHPで販売
携帯:080-4253-1809



(農)若狭下吉田
営農組合HP

26 (株)永耕農産(小浜市松永地区)

えいこう



代表者 辻川 清和

活動のアピールポイント

2003年経営基盤事業で水田魚道を作ったり、冬期湛水を実施したりするなど、水田の生物多様性を実現させることに取り組んでいます。

取り組んだ自然再生、育んだ生き物

生き物が自由に移動できるように水田と水路の間の丸太スロープ、渡し木を設置し、カエル、イモリ、魚などの生息場所を保全しています。子供会と一緒に生きもの調査と観察会を実施しています。

営農方法 県特別栽培認証④、施肥量の最適化



お米の
購入方法

水土里直売所
TEL:0770-57-1032
(株)永耕農産のHPで販売



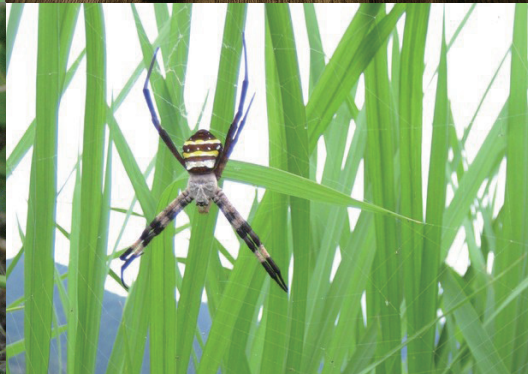
(株)永耕農産HP

福井県特別栽培農産物認証制度とは?

福井県では、2001年度から化学合成農薬と化学肥料の使用を抑えた農産物を認証しています。

認証区分	①	②	③	④
認証マーク				
栽培期間中の農薬の使用量	なし	なし	通常の栽培に比べ5割以上削減	通常の栽培に比べ5割以上削減
栽培期間中の化学肥料(窒素成分)の使用量	なし	通常の栽培に比べ5割以上削減	なし	通常の栽培に比べ5割以上削減

(流通販売課)



令和5年3月発行 環境ふくい推進協議会



〒910-8580 福井県福井市大手3丁目17-1
福井県安全環境部 自然環境課
TEL:0776-20-0306 FAX:0776-20-0635
E-mail:shizen@pref.fukui.lg.jp

